

春秋航空日本株式会社 勤務

日本と海外をつなぎ、
中国語を活用して日本
のおもてなしを体現。

渥美 琴音さん

客室部 客室乗員課

客室乗務員

文学部 英語英文学科 卒

*掲載内容は2020年6月時点の情報です。



私は春秋航空日本に客室乗務員として入社し、国内線および中国への国際線に乗務しています。仕事内容は主に、緊急時にお客様の安全を確保するための保安業務、客室の接客、機内販売（飲食物、免税品）、機内清掃です。

春秋航空日本は東京成田空港を拠点とする、日本のLCC（格安航空会社）です。

保有機材はアメリカ・ボーイング社製の737-800を6機使用しています。

現在は東京成田と札幌新千歳、広島、佐賀を結ぶ国内線3路線と、重慶、武漢、天津、寧波、ハルビン、上海を結ぶ国際線6路線に就航しています。

私が客室乗務員になった理由は、小さい頃からずっと憧れていた仕事であったということ、何より日本と海外を繋ぐ点で、客室乗務員は海外から日本へ来るお客様に対して最初に出会う日本人であり、一番始めに日本のおもてなしを体現し、お伝えできる仕事であることに魅力を感じたからです。

社内の語学学習やフライトを通じて中国語も習得。

春秋航空日本のCAとして大変なことは中国語でお客様とコミュニケーションを取ることです。国際線の9割が中国人のお客様なので英語より中国語がメインになる為、中国語は必須になります。私は入社して初めて中国語を習いましたが、社内で行われている中国語の語学学習と日々の国際線フライトを通じて少しずつ単語を覚えていき、今ではお客様と簡単な日常会話ができるようになりました。また、国際線フライト時に言葉がどうしても通じないときは、紙に漢字で書くなどしてコミュニケーションが取れるよう工夫しています。

大切なのは、どんな状況でも諦めない気持ち。

白百合女子大学の学生時代に私が培ったことは、最後まで絶対に諦めない強い気持ちです。大学4年生の就職活動では、周りの友人よりも内定が決まるのが遅かったので途中で心が挫けそうになるときもありました。しかしずっと目指していたCAになりたいという夢を叶えたい一心でとにかくブレることなく、弱音を吐かずに頑張りました。家族や周りの友人、大学の先生方の温かいサポートのお陰もあり、念願の夢を叶えることができました。どんな状況でも諦めない強い気持ちは大切だと思います。

将来はチーフパーサー資格を取得し、多くの春秋航空日本の後輩を育成するインストラクターになりたいです。そして若い世代に春秋航空日本のバトンを繋いでいきたいです。

